

北海道ヤングケアラーに関する実態調査結果
報告書

令和4年8月

調査の概要

1 調査目的

ヤングケアラーについては、家庭内のデリケートな問題であることや、本人や家族に自覚がないことなどから、支援が必要であったとしても表面化しにくく早期発見や支援に繋がりにくいといった課題がある。調査を通じて、「ヤングケアラー」の認知度の向上を図るとともに、昨年度実施した、道内中学生、高校生の調査に引き続き、道内の小学生、大学生、小学校における家族の世話の状況やそれに伴う日常生活への支障、支援のニーズ等を把握し、ヤングケアラーの早期発見と支援策の検討を行うための資料とすることを目的に実施した。

2 調査方法

- ・ 調査票の内容は、令和3年度に実施された国の調査を参考にし、北海道ケアラー支援有識者会議で検討した。
- ・ 無記名のアンケート方式で実施。小学生、大学生、小学校のいずれも Web 環境から任意で回答。

目次

I 小学生の生活実態に関するアンケート調査

1 実施概要	1
2 調査結果	
A. 基本情報	2
B. 調査結果	
お世話が必要な人がいるか	3
お世話を必要としている方は誰か	3
お世話を必要としている方の状況	4
自身も家族の世話をしているか	5
誰のお世話をしているか	5
お世話をしている日数	6
平日にお世話をしている時間数	7
休日にお世話をしている時間数	8
何歳頃からお世話をしているか	9
お世話をしていることによる影響	9
お世話をすることについて感じていること	10
お世話を必要としている家族のことや、 お世話の悩みを誰かに相談したことがあるか	11
相談した相手	12
相談していない理由	13
お世話をしている家族のことや、お世話の悩みを 聞いてくれる人がいるか	14
学校の先生や周りの大人に支援してほしいこと	15
ヤングケアラーの認知度	16

II 大学生の生活実態に関するアンケート調査

1 実施概要	17
2 調査結果	
A. 基本情報	18
B. 調査結果	20
回答者全体	
お世話の経験の有無	20
過去にケアをしていた方	
お世話をしていた方は誰か	21
お世話を必要としていた方の状況	21
お世話の内容	22
お世話をしていた日数	23
平日にお世話をしていた時間数	23
休日にお世話をしていた時間数	24
何歳頃からお世話をしていたか	24
何歳頃までお世話をしていたか	25

お世話の悩みを相談したことがあるか・・・25

相談しなかった理由・・・26

18歳未満の時から現在もケアをしている方

お世話をしている方は誰か・・・27

お世話を必要としている方の状況・・・27

お世話の内容・・・28

お世話をしている日数・・・29

平日にお世話をしている時間数・・・29

休日にお世話をしている時間数・・・30

何歳頃からお世話をしていたか・・・30

お世話の悩みを相談したことがあるか・・・31

相談しない理由・・・31

過去にケアをしていた方・18歳未満の時から現在もケアをしている方

大学進学に当たってのサポート・・・32

大学に進学する上で苦労したこと・・・33

悩んだり、困っていたこと・・・34

必要なサポート・・・35

18歳未満の時から又は18歳以上から現在もケアをしている方

ケアをしていることで、今後不安なこと・・・36

回答者全体

ヤングケアラーの認知度・・・37

III 学校におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査

1 実施概要・・・38

2 調査結果

A. 基本情報・・・39

B. 調査結果

SSW、SCの派遣・配置状況・・・40

校内で情報共有しているケースの有無・・・41

校内の検討体制・・・42

「不登校の子どものケースに関する校内の
検討体制で検討」等の具体的な体制・・・43

「個別対応」の具体的な体制・・・46

学校以外の関係機関との連携・・・47

「ヤングケアラー」の認知度・・・48

実態把握の有無・・・49

実態把握の方法・・・50

ヤングケアラーと思われる子どもの有無・・・51

ヤングケアラーと思われる子どもの状況・・・51

ヤングケアラーを外部の支援につないだケース・・・52

ヤングケアラーの有無を「わからない」と
回答した理由・・・59

ヤングケアラーを支援するために必要なこと・・・60